



11月

ちよとつ

立川 治樹／ぶん  
くすはら 順子／え  
絵本塾出版  
2021年 ¥1300

「ちよとつもくしん」とは、イノシシが一直線に進んでいくことを表した言葉です。この絵本に出てくるイノシシも、曲がることが大きい。煙、森、民家！？交差点！！と、何があってもまっすぐに走って行きます。でも、大雨の日はちょっとおやすみ。雨が止んで、思いっきり走りだすと目の前に出てきたのは…。迫力あるイラストが楽しい絵本。



12月

やっこさんのけんか

殿内 真帆／作・絵  
フレーベル館  
2020年 ¥1400

5色のおりがみから生まれたやっこさんたちが、どれが一番かを競っています。おもううさんや船、かざぐるまなどに次々と形を変えて勝負をしていきますが、どれも引き分け。はたして決着はつくのでしょうか。お話を出てくる折り方も紹介されているので、家族でおりがみを折ってやっこさんの勝負をしてみませんか。



2月

あわあわジャングル

片平 直樹／作  
高畠 那生／絵  
ひさかたチャイルド  
2024年 ¥1300



1月

カップねこ

塚本 やすし／作・装丁  
ニコモ  
2023年 ¥1400

カップめんならぬ、カップねこ。お湯をそいで3分待つと、中からねこが出てきます。そして、3分たらカップの中に戻ります。おうちにいるカップねこを作った男の子。「のら」や「スタミナ」など、種類もたくさん。どんなねこが出てくるかな？想像しながら読んでみてください。最後がちょっと心配ですが…。

お風呂が大きい「ぼく」を、お父さんがあわあわジャングルに誘ってきた。あわでできた車に乗って、あわあわジャングルツアーオ出発！あわの森には、あわの鳥やあわの動物たちがいっぱい。あわの世界を楽しんでいると、あわのビヨウがおそってきて…！？お風呂の時間が待ち遠しくなる、あわまみれな絵本です。

# うちどく えほん おすすめ絵本リスト

2024.3～2025.2

いちねん としまかんしょ まいつきしきょうかい  
この一年で図書館司書が毎月紹介した絵本をリストにまとめました。

にゅうようじばん  
乳幼児版



「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うことです。  
「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！



●うちどくをはじめるなら、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によっても様々な感想を持るので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。



現在購入できる版の出版年を掲載しています。  
価格は2025年2月現在の本体価格です。

掲載については出版社の許諾を得ています。  
無断で転載することを禁じます。

2025年3月発行  
大洲市立図書館





3月

**もりのとしょかん**  
ふくざわ ゆみこ／作・絵  
Gakken  
2017年 ¥1300

ひとりぐらしのふくろうさんは本が大好き。家にはたくさんの本が並んでいます。ある日、森に迷いこんだ子どもたちに本を読ませてあげました。それから毎日、子どもたちはふくろうさんの家に本を読みに来るように。すると、他の動物たちも本が読みたいと集まってきて…。読書を通して動物たちの交流が広がる、温かいおはなし。



5月

**犬ずもう**  
最勝寺 朋子／著  
めくるむ  
2023年 ¥1800

かわいい犬たちがじゃれ合っている姿。何かに似ていませんか？そう、それは「すもう」！この絵本に出てくる犬たちは体重10キログラム以上。今日も稽古にはげでいます。ハッキヨイ！ノコタノコツタア！ページをめくるたびに犬たちの表情もガラッと変わります。もちろん、みんな仲良し。色々な種類の犬が出てきますよ。



4月

**ちいさなかえるくん**  
甲斐 信枝／さく  
福音館書店  
2017年 ¥900

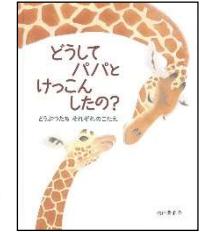
生き物たちが活動をはじめる春。おなかペコペこなちいさなかえるくんが、たんぽぽやれんげそうに集まるちょうちよたちを狙っています。くまんばちやへびにみつからないようにしなくっちゃ。ちいさなかえるの目線で見える身近な春の風景や、野原で懸命に生きる生き物たちの様子が詳しく描かれています。



7月

**オバケや**  
富安 陽子／文  
鈴木 のりたけ／絵  
小学館  
2024年 ¥1500

「オバケおるかね、おらんかね」と、まちからまちをめぐり歩く「オバケや」さん。人の入り込でしまったオバケをつかまえてくれます。ある日、「天井裏から妙な音がする」と呼ばれて調べてみると、大きなオバケが！どうやってつかまえるのでしょうか？こんなキュートなオバケたちが、あなたの身のまわりにもかくれているかも。



8月

**どうしてパパとけっこしたの？**  
桃戸 栗子／作  
福音館書店  
2022年 ¥1300

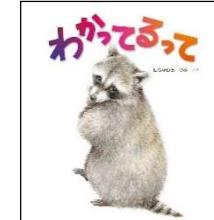
動物の子供達がママに聞きます。「どうしてパパと結婚したの？」と。「くれた小石がステキだったから」「たてがみが黒っぽくてツサフサだったから」…ママたちはその理由を語ります。後ろの見返しには、へえっと思う動物の結婚にまつわるあれこれも紹介。パパとママが結婚した理由についても、子供にぜひ語ってあげください。



6月

**さかさま**  
たんけんたい  
すずき みほ／作  
偕成社  
2019年 ¥1400

ふみちゃんの今日の遊びは「さかさまたんけんたい」。さかさまになつたら、いつも見ているものが別のものに見えてしまいます。へびやかっぱ、ロボットも隠れてる！？みんなのおうちではどんなものが見つかるでしょう。おにわで、おへやで、だいどころで、「さかさま、さかさまたんけんたい」！ただし、フラフラになるのでやりすぎには注意！



9月

**わかってるって**  
しもかわら ゆみ／さく  
イマジネイション・プラス  
2020年 ¥1500

かわいい弟が生まれて、お兄ちゃんになったアライグマの男の子。赤ちゃんのために張り切ってがんばるけど、空回りして叱られてばかり。だんだんつらくなってきて「お母さんは、赤ちゃんだけいればいいんだ」と言ってしまった夜、悪い夢を見て泣き出したのは…。アライグマの親子を描く、心あたたまるお話。



10月

**えほんのしゅやくはなにたろう？**  
おおの こうへい／作・絵  
PHP研究所  
2023年 ¥1500

ももたろうの絵本が大好きな男の子が、「もし、桃じゃなくて他の食べ物から生まれたら？」と想像していくおはなし。男の子といっしょに想像してみると、私も「やっぱり桃がいいな」と思っちゃいます。表紙の裏にも「この食べものだとこうなる」という絵が描いてあります。他の食べものや他の物語で想像するのもおもしろいですね。